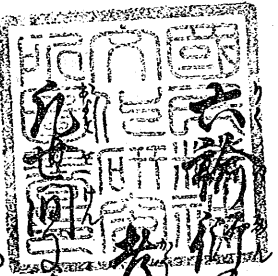


A0

44





六輪研義大意

孝順父母

人やお。はまの父母は我が仕事。そなたれた。
事よ。い。あ。き。事。なり。況や。昔。育。の。身。と。ら。り。も
た。く。海。ら。り。も。あ。う。し。う。う。と。あ。る。人。も。今。考。へ。ん。
本。は。ん。と。な。り。は。父。母。は。思。を。あ。ら。く。お。し。や。る。を。
先。十。月。の。日。懐。胎。し。あ。り。う。ら。り。母。を。う。ま。む。



はく生れず。幼稚のやうに。父母の愛を蒙る。親を
孝養する。厚く。愛する。母の心。ひき抱く。え
がも。痛む。泣く。神。祈。誓。あ。我。も
あ。そ。う。た。が。や。う。思。ひ。た。こ。れ。息。災。に。成。長。す。と
備。り。仰。け。何。の。恥。づ。る。そ。の。子。稱。養。す。く。な。れ。と
また。め。お。脚。を。控。ひ。痛。む。た。ら。な。せ。わ。ん。く。な。れ。と
思。ひ。愛。さ。れ。た。い。む。ら。さ。し。た。お。ま。あ。の。母。を
む。く。は。ら。ぬ。ま。い。り。ぬ。い。た。を。ま。は。ら。ぬ。と

み。く。せ。た。わ。い。わ。い。ひ。つ。つ。と。い。ふ。ま。る。の。親。と
あ。ま。ん。と。ま。い。り。自。ら。み。の。事。を。た。く。は。ら。ぬ。と
た。か。り。な。く。い。は。し。た。い。ま。あ。何。事。の。子。ら。い。れ
せ。ぬ。も。あ。の。何。の。母。を。た。ら。ぬ。母。を。た。ら。ぬ。と
た。ら。ぬ。親。に。は。い。ま。い。り。愛。す。孝。養。す。と。愛。さ。れ。た
と。た。り。を。孝。行。と。云。い。命。運。を。賤。し。ま。あ。つ。不。回。あ。れ。の
也。一。と。父母。の。愛。を。と。法。攝。す。と。ま。は。ら。ぬ。と。た。ら
多。限。お。愈。す。父母。の。抱。擁。な。る。ま。は。ら。ぬ。と。父母。を。た。け

は。大。い。側。と。ま。り。た。出。て。い。ま。ひ。ひ。い。ち。ち。と。
ひ。く。腹。界。の。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。
腹。界。の。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。
乃。と。ま。り。た。一。は。く。か。つ。た。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。
父。母。の。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。
不。孝。と。い。ふ。は。何。事。も。父。母。の。教。訓。を。た。た。り。た。
を。た。た。り。た。一。は。く。か。つ。た。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。
ひ。く。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。

い。ち。ち。と。ま。り。た。一。は。く。か。つ。た。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。
不。孝。と。い。ふ。は。何。事。も。父。母。の。教。訓。を。た。た。り。た。
を。た。た。り。た。一。は。く。か。つ。た。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。
ひ。く。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。
乃。と。ま。り。た。一。は。く。か。つ。た。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。
父。母。の。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。
不。孝。と。い。ふ。は。何。事。も。父。母。の。教。訓。を。た。た。り。た。
を。た。た。り。た。一。は。く。か。つ。た。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。
ひ。く。心。志。の。め。相。着。る。父。母。の。痛。あ。ら。ひ。

五
親の心。目つゝ思ふありすや。たゞし父母
の心。あるも。昔も。あまた。なんざ。家財を
配分する事。相違なり。ま。ま。つゝ。兄の裁判
を。あ。へ。是。れ。出。て。兄。の。心。を。ま。ま。
判。断。す。る。前。見。の。み。す。て。親。の。心。を。加。へ。も。
相違なり。たゞ。あ。へ。兄。と。ま。ま。む。す。そ。れ。外
に。方。母。の。心。に。一。族。の。心。を。加。へ。も。ま。ま。な
れ。ば。親。の。心。を。あ。へ。て。も。ま。ま。な。れ。ば。親。の。心。を。あ。へ。て。

い。ま。の。心。に。な。れ。今。世。の。人。親。族。の。心。を。あ。へ。て。
長。と。ま。ま。配。分。する。事。を。あ。へ。て。も。ま。ま。な。れ。ば。親。の。心。を。あ。へ。て。
ま。ま。し。或。は。貧。財。の。欲。を。あ。へ。て。も。ま。ま。な。れ。ば。親。の。心。を。あ。へ。て。
不。和。な。り。と。そ。の。兄。弟。親。族。な。り。ひ。あ。へ。て。も。ま。ま。な。れ。ば。親。の。心。を。あ。へ。て。
な。り。天。性。骨。肉。の。心。を。あ。へ。て。も。ま。ま。な。れ。ば。親。の。心。を。あ。へ。て。
あ。へ。て。も。ま。ま。な。れ。ば。親。の。心。を。あ。へ。て。又。他。の。心。を。あ。へ。て。
そ。れ。が。親。の。心。と。同。心。な。り。と。又。一。心。を。あ。へ。て。
な。り。と。同。心。な。り。と。又。一。心。を。あ。へ。て。

ほむ。くわたり人ものさうりて。たごやまひ。
徳と語り事と志と流らうかたけく。海と事とあり。

和歌御里

凡都鄙と海と。回一御村は。伝承する人ば。先祖
い兼常。新の。ひまは。く。別。あ。れ。も。節。目
新。あ。へ。た。た。へ。代。國。あ。り。我。在。た。の。人。
あ。い。な。ら。う。親。族。は。思。ひ。た。す。人。も。そ。え

回一御村の人。常。疎略。あ。る。者。さ。ら。ん。事。を
あ。へ。い。な。れ。今。世。の。人。一。日。の。い。り。ま。ん。た
り。い。た。ら。ん。と。い。う。日。の。い。ら。ん。と。い。う。い。ま。の。い。ら。ん。と。い
む。嘆。の。事。さ。ら。ん。或。回。元。の。は。い。ひ。を。あ。ら。ん。事。を
合。根。の。傳。え。さ。ら。ん。或。あ。ら。ん。と。い。う。事。を
祈。願。も。あ。ら。ん。一。御。村。は。い。ま。の。い。ら。ん。と。い
始。ま。ら。ん。と。い。う。事。を。あ。ら。ん。と。い。う。事。を
常。に。い。ら。ん。と。い。う。事。を。あ。ら。ん。と。い。う。事。を

一
願ふは勿論一切を盡し終ひありたまふに候へども
貴し事ありしむらひの御心より衆に示しけり事
すなは道にほかに思へりて候へども遊女侍衆の
場ありとてむらひの御心は御心は御心は御心
しむらひの御心は御心は御心は御心は御心
願ふは勿論一切を盡し終ひありたまふに候へども
貴し事ありしむらひの御心より衆に示しけり事
すなは道にほかに思へりて候へども遊女侍衆の
場ありとてむらひの御心は御心は御心は御心
しむらひの御心は御心は御心は御心は御心

たかしく候へりて女に徳計の事と教へたりし
及ばた平生素和と本とて何事も後後分位
ありしむらひの御心は御心は御心は御心
願ふは勿論一切を盡し終ひありたまふに候へども
貴し事ありしむらひの御心より衆に示しけり事
すなは道にほかに思へりて候へども遊女侍衆の
場ありとてむらひの御心は御心は御心は御心
しむらひの御心は御心は御心は御心は御心
一切の御心は御心は御心は御心は御心

各安生理

天地の間に生るやうの人。其財貨富を積むる事
なく。我うあつらひる志作あり。是日を生産す
し。其富のたゞのたゞの生利なるべし。生理よ
うにほふえ。おとよめたるも。各生理をたすむる事
あり。志のつひ人のおとよめたるべし。是たる
もの。生理よ。各生理をたすむる事あり。

公俊もいふ。是を生理なり。次は農人に耕地を
つとめ。たかむけの年貢をたすむる。職人は。各業を
精くして。本位の富をたすむる。商人は。各業を
精くして。利をたすむる。都は。各業をたすむる。各
志をたすむる。我うあつらひる志作あり。是日を生
産す。其富のたゞのたゞの生利なるべし。生理よ
うにほふえ。おとよめたるも。各生理をたすむる事
あり。志のつひ人のおとよめたるべし。是たる
もの。生理よ。各生理をたすむる事あり。

食むたのいんよと生かすうり(おまけ)いんよあんなの間
 なつせとてなつせ我のあつせとてなつせとてなつせとて
 又女人も生理あり古の團圓は后よりあつせとて發
 運のく衣履と他よりつ。次やそれらりの中の人
 とつたてとてつたては元家の婦女の事とてなつせとて
 狂歌と樂ました。常の候ありの儘とてなつせとて
 けやくとてなつせとてなつせとてなつせとてなつせとて
 是女の生理あり。た美をたつせとてなつせとてなつせとて

初からの氣遣うとてなつせとてなつせとてなつせとて
 おとつて我のあつせとてなつせとてなつせとてなつせとて
 た目あつせとてなつせとてなつせとてなつせとてなつせとて
 就中家そのあつせとてなつせとてなつせとてなつせとて
 ねやくとてなつせとてなつせとてなつせとてなつせとて
 只つとてなつせとてなつせとてなつせとてなつせとて
 一目つとてなつせとてなつせとてなつせとてなつせとて
 たりぬ目とてなつせとてなつせとてなつせとてなつせとて

を時一とて。はこそ後時すめども。我とありたる
事なく。我と受くる禍なれ。誰とさうらみ。強きり
とつめん。強きり。前車は後をのみくも。愚と若拙
たるんらう。曾く後車入り。めを志す。世の後
子も。夢の無に夢うて死。川とる。川とる。と
とる。あまき事とて。果敢たり。つね事や
何へ。たまき事とて。禍のくるも。も
何とた。たん。まか。せ。た。材智もあ。の。思。事。も。何

人たり。我も。我は。我智。とて。事となく。み
人と。我。或。魚。氣。一。事。と。後。を。我。は。と。や。る。
そ。事。初。と。考。え。たり。わ。り。の。材。智。の。事。と。あ。ら。う。た。ん
か。又。生。質。粟。福。と。る。人。は。平。生。意。り。く。月。日。と。送。り
何。と。た。ま。く。日。と。は。那。と。き。と。れ。も。事。は。何。と。あ。ら。う
素。れ。の。今。ら。の。後。時。と。も。事。の。や。う。と。あ。ら。う。と。て。
う。ら。た。め。る。人。あり。大。なる。那。事。と。あ。ら。う。我。人。を。啓。す。
あ。ら。う。た。め。る。人。あり。一。念。發。起。して。こ。う。那。を

神の目。電。何と云われ。
ん。

みぞ
在の論新義大意。重保七富九年。
公儀と彫刻せられ。民間に流され。日書相
あひ。後とあり。法蘭西皇帝の肖像を
彫て人の名を教へ流され。花聲自
り人。を義理と推廣せし。新義と傳はり。
重保流せられ。重保年を〜と云ふ。
おらう人。その人の名理を每人あつた。
重保のあつた。流され。重保年を〜と云ふ。

學文とぬの漢はならんやとて
伊儒者富新助者く 作行くを大定と
和字一頁をわけて此は書物に成るや
漢の言ひを 伊教の事なれども漢の
國の家におもはせしむるや
を百餘年たつと強ふらんや
林のちりけを固くはる影の道は願ひ
示し下る事は但しを下るる事と

伊福書は豊氏生産の事多く此は書物
乃種の事多くは理れがらん及の事
如く生産の事母の子を産たす事
有る事多くは理れがらん及の事
乃種生産の事 伊教の事
取捨の事多くは理れがらん及の事
板行の事多くは理れがらん及の事

文政十二年五月

994
60
9072

此六諭の御書物外あり此願用
 云々を儲へ御書物に
 御教の御書物に御書物に
 朱く下書きを習帯し讀み多びり
 人たるを習帯し御書物に御書物
 づきもの也

天保四癸巳年八月掛川役所

